

Minuma Shun Sai

見沼・旬彩

2024年夏号 vol.29



染谷花しょうぶ園

見沼区染谷2-248 TEL.048-683-8787

開園:5月25日(土)～6月末(花が終わり次第閉園) 9:00～17:00 入場料:500円 平日:シニア割引有

見沼界隈のお店紹介!

氷川ブリュワリー ～さいたま市の地ビール工房

武蔵一宮氷川神社の参道近くの「氷川の杜」ブリュワリーは、誰でも気軽に立ち寄れる醸造所併設のビアバブです。地産地消の考えのもと、クラフトビールを2014年に初出荷し、2016年には渋沢栄一ビジネス大賞も受賞しています。

ビールの原料に地元の農産物を取り入れたり、地元企業とのコラボを積極的に行い、地域との一体感を大切にしています。店内では好みの味のビールを見つけ注文でき、いつも10種ほど楽しめます。例えば「さいたま育ちWeizen」は見沼の農家の方の協力を得て育てた小麦を使用し軽やかな口当たりと酵母由来の風味が広がる白ビールです。そしてビールに合う美味いつまみも各種用意されています。

常連の方に加えネットで検索し遠隔地から訪れる方も多とのこと。席の予約は当日でも連絡可能です。近隣のイベントにも積極的に出店しています。

大宮区高鼻町1-36-1 TEL.0487-83-5123

営業時間:平日17:00～22:30 土曜:12:00～22:30

日曜:12:00～20:00 定休日:月・火

メール:info.hikawa.brewery@gmail.com



▲ビールと蟹クリームコロッケプレート



▲店頭



▲店内



▲近隣イベントにも出店

膝子・加田屋新田の米作りを守る 中野栄寿さん



▲中野栄寿さん

1970年頃には田んぼが全域に広がっていたそうですが、今では水田が残っているのはごく一部の地域だけとなった「見沼たんぼ」。

そんな見沼の中でも、まだ田んぼの風景がまともに残っている膝子・加田屋新田地域、中野栄寿さんはここで米作りを続けています。

コシヒカリや彩のかがやき、彩のきずな、飼料米等を栽培しています。今年新たな試みとして、6町歩(約6ha)ある田んぼの一部でドローンを使った直播栽培を試してみるそうです。これは種籾を直接田んぼに蒔いて稲を育てる方法です。従来の苗を育てて田植えをする方法よりずっと少ない労力で栽培できるため、農業者の減少が心配される



▲学校ファーム 写真提供:水野晶子

近年、注目されています。また、子供たちが田植えや稲刈りを体験することで、農業に親しみを持ってくれたら、との思いから市内小学校の「学校ファーム」の活動にも長年協力しています。毎年、時期になると子供たちの明るい声が田んぼに響きます。

お米はJAを通して市内の直売所で「さいたま市内産」として販売されています。中野さんはイチゴや野菜も栽培していて、直売所やマミーマート(山崎、南中野)、マルエツ(東門前)の地元農産物コーナーで採れたての味を楽しむことができます。ぜひ、足を運んでみて下さい。

上山口新田・ユニークな「ヌマーランド」の活動

2021年から、この地域で活動する市民団体として「ヌマーランド」と「見沼の里」が加わり、これまでの「見沼ファーム21」や「米づくりを応援する会」とともに、上山口新田地区での市民の米づくり・応援活動団体が4団体となりました。

その中でもとりわけ異彩を放っているのが「ヌマーランド」の活動です。

6反の水田では、赤米など古代米各種ともち米などを、すべて「手植え」で栽培です。また、「除草」も手押しで浅く除草する「中野式除草器」を使用し、無農薬で栽培しています。田植えは、昔ながらの5



▲芝川小のヤギと岡野友敬さん

月下旬～6月上旬に行うとのことでした。

コミュニティ活動として展開

また、自分たちで食べる米づくりも大切だけれど、米づくりをきっかけとして参加している家族の「コミュニティ活動」としても意識的に展開しているとのこと。このため、毎週、ズームで会議を開催しているとのこと。

芝川小学校とのつながりを大切に

代表の岡野友敬さんは、6年前まで芝川小のPTA会長さんだったこともあり、芝川小の生徒さんの米づくり体験を進めたいとのこと。また芝川小で3頭のヤギを飼い、ご自身も「生き物係」として係わっており、今年はヤギのチーズづくりとともに「ヤギの糞」を水田の肥料として利用してみたいとのことでした。



MINUMA EVENT INFORMATION

氷川女體神社「名越の大祓え」の紹介

「名越の祓え」は古くから寺社で行われており、この日、神社の鳥居の下や境内にはチガヤなどで作られた大きな輪が用意されます。参拝者が「水無月の名越の祓えをする人は、千歳の命のぶというなり」などと唱えながらくぐると、夏の疫病や災厄から免れるといわれています。



▲人形納所

また、神社から配られた紙の人形(ひとがた)に姓名・年齢を書き、それで身体を撫でてから神社に納めると、罪・穢れが祓われるとも伝えられています。氷川女體神社はさいたま市の無形文化財であり、納められた人形は祭祀で浄められ見沼代用水西縁に宮司、氏子により流されます。

厄除けの「氷川女體神社・名越の大祓え」ツアー

2024年7月31日(水) 集合:13:45 東浦和駅前広場(小雨決行)

参加費:300円(バス代別)



▲罪穢れを人形に移し見沼代用水西縁に流す

「輪くぐり」「大祓え」と呼ばれる行事で、江戸時代より続く名越しの行事です。月遅れの7月31日、罪穢れを人形(ひとがた)に移し、社頭を流れる見沼代用水西縁に流します。その後、境内の鳥居に取付けられたマコモという植物で作った輪を「8の字」にくぐります。罪穢れを人形に移して水に流し去らせることにより、悪疫を防ぎ、秋の農繁期の健康を祈願するものです。昔ながらに神官・氏子・参拝者が同時に一体となって行われる貴重な神事/お祭りです。ご一緒に参加しませんか。

●コース:東浦和駅→朝日坂上バス停→氷川女體神社(名越の大祓え参加)→見沼氷川公園→芝原小バス停→東浦和駅(16時45分散散予定)

●歩行距離:約2km、歩行時間:約2時間

※ツアーは傷害保険等には加入していません。必要でしたら各自ご加入ください。

●参加申込:黒澤兵夫 メール:kurosawa@peach.ocn.ne.jp TEL.080-1038-6712 FAX.048-687-5543



▲名越の大祓えの祝詞

大宮盆栽村開村100周年について

2025年、大宮盆栽村は開村100周年を迎えます。さいたま市における盆栽文化は、大正14年(1925年)に大宮盆栽村が誕生してから今日に至るまで、長い歴史の中で育まれてきました。

大宮盆栽村が開村100周年を迎えるにあたり、さいたま市は大宮盆栽村にある盆栽園を中心とした若手盆栽師と協働で、記念ロゴマークを制定しました。ロゴのコンセプトは100周年が分かりやすく認知できるよう数字と文字を配置し、数字の中心には名樹・五葉松の「日暮し」を配置した。文字のかすれ部分は、盆栽の見どころである幹の枯れ部分「シャリ」を表現しています。

かつて、東京の団子坂(文京区千駄木)周辺には、江戸の大名屋敷などの庭造りをしていた植木職人が多く住んでおり、明治になってから盆栽専門の職人も生まれました。関東大震災(1923年)で大きな被害を受けた盆栽業者が、壊滅した東京から離れ、盆栽育成に適した土壌を求めてこの地へ移り住みました。1925年には彼らの自治共同体として大宮盆栽村が生まれ、最盛期の1935年頃には約30の盆栽園がありました。

その時の盆栽村移住規約です。

- ①ここに居住する人は、盆栽を10鉢以上持つこと。
- ②門戸を開放し、いつでも、誰でも見られるようにしておくこと。
- ③他人を見下ろし、日陰を作るような二階家は作らないこと。
- ④ブロック塀はつくらず、家の囲いはすべて生垣にすること。



大宮盆栽村は、いまま名品盆栽の聖地として知られ、日本だけでなく世界から多くの愛好家が訪れています。世界に誇れる盆栽文化を積極的に振興し、国内外に発信していきます。

細沼農園

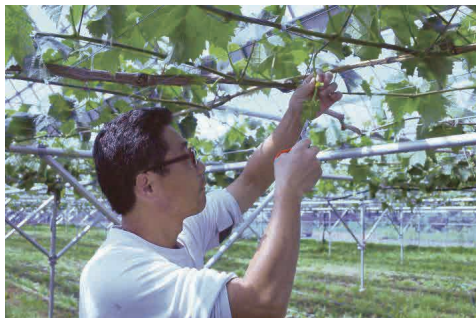
江戸時代から11代続く細沼農園さんは、父武彦さん(79歳)から代替わりし、長男義憲さん(52歳)が、新しく取り組んでいるシャインマスカットのハウス栽培、次男寛樹さん(51歳)は、見沼たんぼで従来からの米・野菜作りを引き継ぎ、兄弟で代々続く農業の業容拡大と販路拡充に取り組んでいます。今回は今年で5年目を迎えたシャインマスカットのハウス栽培について紹介します。

シャインマスカットは植えてから3年で実がなり始め、5年目ぐらいから安定した収穫が期待できると言われています。

それだけにハウス内では、まず種無しブドウにするため、一房一房開花の後に2回行うジベレリン処理、余分な顆粒をカットし顆粒数を調整し、房の形や粒ぞろい(35粒～45粒)にする為の摘粒作業(6月の1か月間)が収穫時の品質や収量に影響する大切な作業だけに真剣そのもの。

収穫物は自宅前の仮設売り場や大和田駅近くの大和田直売所そしてJA直売所でも販売しておりますので是非ご利用下さい。

なお細沼農園さんでは、摘粒作業のボランティア



▲長男義憲さん



アさんを募集しています。農業・ブドウ栽培に関心をお持ちの方はお問い合わせください。

見沼区大和田1-347
TEL.048-683-7611 (携帯090-8118-4178)

見沼のお店紹介!

エシカルCafe としょかんのとなり

夏の日差しを避け爽やかな木洩れ日の中、大宮東図書館の隣「エシカルCafe としょかんのとなり」にお伺いしました。その人気メニューを紹介します。無肥料自然栽培の「やどかり農園」(見沼区)での旬野菜が豊富に盛り込まれたワンプレートランチ、ホームメイドケーキ、ドリンクメニューも豊富で、話題情報も溢れています。

見沼区堀崎町48-1 TEL.070-3260-2020

営業時間:火～土曜 11:00～16:00
定休日:日・月・祝日 駐車場あり



タコライス
850円▶



▲バターチキンカレー 900円
(ドリンク+200円 デザート・ドリンク+500円)



▲宗野文さん(左)、柴山真澄さん

見沼たんぼ・美園地域「ブドウ狩り」とナシなどの直売

フルーツパーク浦和組合

さいたま市緑区間宮のフルーツパーク浦和組合は、「ブドウ狩り」とナシ・野菜・ブルーベリーなども販売しています。ブドウはカゴ入りでお土産にも最適です。トイレ、休憩所も完備し、直接、来店すれば宅配での発送も可能です。

緑区間宮766 TEL.080-5027-2289 (開園日のみ通話可能)

JR浦和駅東口よりバス「東川口駅北口」行き乗車「浦和特別支援学校」下車徒歩約3分

営業期間:ブドウ狩り直売 8月上旬～9月下旬 / 梨直売 8月中旬～9月中旬

取扱品種:ブドウ・巨峰、ヒムロッドシードレス、藤稔、シャインマスカット / 梨・幸水、豊水、彩玉(サイギョク) 秋の彼岸ごろまで。

開館時間:9:00～16:00頃 開園日:水・土・日曜(8月～9月の祝日は開園、お盆は休園)

ブドウ狩り・入園料:無料 直売・お持ち帰りは別途料金



県内最大4.5haの広～いブルーベリー園で「ブルーベリー」の摘み取り体験・食べ放題

ブルーベリープラザ浦和

開園時間 6月上旬～7月上旬:9:00～12:00 / 7月上旬～8月下旬:9:00

～14:00。食べ放題の入園料1人800円。3歳以上、時間無制限。持ち帰り料金:100g/200円～220円

緑区大崎589 (大崎公園そば) TEL.090-1990-2020 「ブルーベリープラザ浦和」

バス:浦和駅東口①番乗場から「念仏橋」下車5分。自家用車は、周辺の農道に片側駐車
ホームページ:https://www.blueberry-plaza.com/



MINUMA
New Face / 「よいよいファーム」園主 齊藤昇平さん



▲齊藤昇平さん

農と祭りて街を耕す百姓、「安心して楽しく暮らせるように」人に自然に寄り添う有機農業で、畑に、街に、より良い環境を作ります。

人によい 自然によい よいよい野菜 ヨイヤッサイ！

1991年2月4日、群馬県生まれ。大学ではスペイン語を学び、半年間バルセロナ大学でスペイン語と文化を学んだ。2014年からさいたま市で暮らしています。東日本大震災をきっかけに生き方、食べ方を見直し生きる力として農に魅力を感じた。見沼たんぼにある3反の畑では季節ごとの様々な野菜（ジャガイモ、ナス、トマト、ピーマン、ズッキーニ、トウモロコシ、サトイモ、ピークレタスなど）、群馬県のとんぼでは自家採種の古代米を栽培しています。また、2023年埼玉県農業大学校有機農業専攻を卒業し、2024年よりさいたま市の新規就農（明日の農業担い手育成塾）、さいたま有機都市計画の農家メンバーです。販売は与野本町の路地裏ガレージのオーガニック「TeetyWoo(ティティウー)」、木崎ミニストップなどです。奥さんは画家「寿の色(ジュンノシキ)」で中央区役所の壁画を作成されています。

農と祭りて街を耕す百姓、「安心して楽しく暮らせるように」人に自然に寄り添う有機農業で、畑に、街に、より良い環境を作ります。

人によい 自然によい よいよい野菜 ヨイヤッサイ！

1991年2月4日、群馬県生まれ。大学ではスペイン語を学び、半年間バルセロナ大学でスペイン語と文化を学んだ。2014年からさいたま市で暮らしています。東日本大震災をきっかけに生き方、食べ方を見直し生きる力として農に魅力を感じた。見沼たんぼにある3反の畑では季節ごとの様々な野菜（ジャガイモ、ナス、トマト、ピーマン、ズッキーニ、トウモロコシ、サトイモ、ピークレタスなど）、群馬



▲ジャガイモ畑

▲ジャガイモ畑

見沼のお店紹介！
しゃこう
射光どっと



▲ペンション風な外観



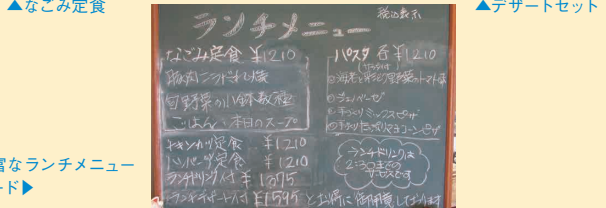
▲明るい店内



▲なごみ定食



▲デザートセット



店名の由来は「店内に光が差込み、お客さんもどっと入る」との知人からのアドバイスによるもの。のどかな畑に囲まれ明るい窓辺には涼やかな風が流れ、オープンキッチンで作る野菜料理が人気です。定食のほか、パスタセットやピッツアそして甘さ控えめの自家製デザートセットもあります。野菜総菜を盛り付けたヘルシー弁当の事前予約も可能です。お店で野菜も買うことができます。

浦和東高校と浦和学院の途中にあるちょっと判り辛い場所ですが、隠れ家を探す気持ちでお出で下さい。畑の中に佇むペンション風建物です。

緑区代山461-1 TEL.048-607-1185
営業時間:11:30 ~ 15:00(L.O.14:30)
定休日:日曜 駐車場有

豊富なランチメニュー
ボード▶

人と環境にやさしい農業講演会について

「農をもっとじぶんごとに~ひよっこ有機農家の舞台裏~」

期日:2024年7月14日(日) 14:00

講師:[有機植物性]青と緑の農場! 代表:吉岡章子さん

場所:シーノ大宮(さいたま市生涯学習総合センター)9階 学習室2

大宮駅西口歩道橋・徒歩5分

私は新規就農4年目の「ひよっこ有機農家」です。農家になってびっくり!農家ってこんなに大変なの?有機ならではの栽培の壁や除草剤を使わない畑にびっくり!そして「こんなに稼げないの?」って農家の現実に。じゃあ何でそんなに大変なのに、私は有機農業を選ぶのか。農家として、買う側としてわたしたちができることって?「循環型農業の循環って?」野菜のふしぎも織り交ぜながらほのぼの一緒にお時間を過ごせたらと思います。

申込み先:黒澤兵夫 メール:kurosawa@peach.ocn.ne.jp FAX.048-687-5543

ガイド
ツアー

見沼たんぼの夏の花
ヤブカンゾウ鑑賞ツアー



無駄で危険な高速道路計画
STOPのため『オンライン署名』を

1.見沼たんぼの中心地域での「高速道路計画の推進」の経緯

- ①2019年の秋、村井英樹衆議院議員から、「見沼たんぼ地域の開発促進のため、高速埼玉新都心線の東北道までの延伸を進めたいと考えています。」「国土交通省の友人に聞いたら「可能性はあるのではないかなー」ということでしたので推進します。」とのご見解をうかがいました。(北原)
- ②2021年12月に、大宮国道工事事務所が、「埼玉県東西軸道路検討会」を、「WEB会議」方式で急遽、開催しました。
- ③2023年1月には、核都市広域幹線道路「地元検討会」をさいたま市役所で開催しました。

2.高速道路計画の危険性・不要性・無駄

- ①さいたま都市計画マスタープランの「交通体系方針図」で通過路線と新規のインターは、見沼出口から西山新田を通過し、片柳地区の中心部を横断し、見沼自然公園を分断して、浦和東高校付近の県道・新方須賀・さいたま線に接続するものと想定されています。
- ②追加されるインターは、浦和インターから1.8km、2分間の距離です。既存インターの至近距離に、追加インターは不必要であり、危険性が増大します。
- ③その建設費用を1996年に完成した新見沼大橋1km・105億円から推計すると、新規の高速道路は30年間の工事期間と2,700億円の費用がかかります。
- ④浦和インターに接続する463国道は、2024年の4月に、新大宮バイパスに連絡し、見沼有料橋は、2年後の2026年秋に30年の償却期間を終えて、無料化します。
- ⑤28年後の2053年には、日本の総人口が、2023年の人口1億2,330万人から2,300万人ほど減少して、1億人を下回ると推計されている時期に、車の増加を見込んでの「高速道路の必要性」の提起には、有効性はありません。

3.高速道路計画に反対する会を結成し、オンライン署名活動を開始しました。

オンライン署名:https://www.change.org/minumatanbo
継続して実施しておりますので、ぜひみなさまのご協力をいただけますよう、心からお願い申し上げます。



7月6日(土)・7日(日)

集合:さいたま新都心駅 改札を出た所 9:30

夏、見沼代用水西縁にヤブカンゾウが咲き誇る日本一長い花の道(約1.5km)があることをご存知ですか。「NPO法人カンゾウを育てる会」など地域の人たちが、20年以上をかけて保全育成してきました。

- コース:さいたま新都心駅→見沼代用水西縁に沿ってヤブカンゾウを鑑賞しながら花の道を歩く→みぬま木崎広場→山中橋バス停解散 12:30→さいたま新都心駅 或 北浦和駅
- 歩行距離:3.5km
- 所要時間:約3時間(少雨開催)
- 参加費:一人300円(交通費別)
- 持ち物:帽子・タオル・飲み物・日傘・雨具
- 申込み:北原典夫

メール:minuma.farm.kitasaku@ever.ocn.ne.jp
FAX.048-834-5731 TEL.090-2675-1684
見沼たんぼ地域ガイドクラブHP
http://www.minuma-guide-club.com/

